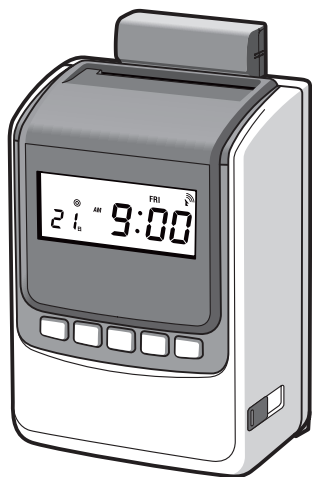


●この取扱説明書は大切に保管してください。

MAX

マックスタイムレコーダ ER-110SUW / USB

取扱説明書



はじめに	P.2~
第1章 導入設置	P.8~
第2章 詳細設定(本体)	P.25~
第3章 詳細設定(PC)	P.45~
第4章 日常の操作	P.61~
第5章 集計	P.63~
第6章 その他	P.65~

- ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- この取扱説明書の内容を無断で転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。



4102913(00/00)

はじめに

このたびは、マックスタイムレコーダER-110SUW/USBをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用前に本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本書の表記について



お願い タイムレコーダが故障し修理が必要になることが想定される操作や、原状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行なってはいけないことが書いてあります。

MEMO 操作上のポイントおよび知っていると便利なのが書いてあります。

参照 説明のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書および商品は、商品を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。

 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことや物的損害のみの発生が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。また、作成したデータが消失する可能性があり、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。

■表示について









「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。








「気をつけるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。



「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。

 警告	
	● タイムレコーダは絶対に分解または改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
	● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	● 水、薬品などが機械にかからないようにしてください。万一内部に水などが入った場合は電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用するとタイムレコーダが故障したり、火災、感電の原因になります。
	● 煙が出ている変な音やにおいがするなど故障状態のときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。火災や感電の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● タイムレコーダの内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください。タイムレコーダが故障したり、火災、感電の原因になります。 ● 電源はAC100V専用コンセントを使用してください。100V以外の電源を使用するとタイムレコーダが故障したり火災、感電の原因になります。 ● 電源は直接コンセントからとりタコ足配線はしないでください。火災の原因になります。 ● 電源コードの上に重いものを絶対にのせないでください。電源コードに傷がついて火災や感電の原因となります。 ● 傷がついたり、いたんだりした電源コード、ケーブルは使わないでください。火災・感電・故障の原因となります。 ● コネクタには直接手で触れないでください。静電気により故障の原因となることがあります。 ● 本体内部に異物がはさまるなどで、正常に動作しない場合は、必ず電源を切ってから取り除いてください。機械が不意に動作したとき、けがの原因になります。

⚠ 注意

	<ul style="list-style-type: none">● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜いてください。コードが破損して火災や感電の原因になります。● 長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。● 設置場所を移動するときや、壁に取り付けるときや取り外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行ってください。タイムレコーダが不意に動作したとき、けがや故障の原因になります。● インクリボンを交換するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。タイムレコーダが不意に動作したとき、けがの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">● 印字直後のプリンタヘッドには絶対に触らないでください。やけどの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">● 大きな容量を必要とする機器(冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等)とコンセントは共用しないでください。電圧が下がり機械が誤動作する可能性があります。● 紙や布をタイムレコーダの上にかぶせたり置いたりしないでください。火災や故障の原因になります。● 電波受信ユニットを無理に引っ張らないでください。けがや故障の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">● タイムレコーダは必ず水平に設置してください。不安定な場所に設置すると、倒れたり、台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。● 壁に掛けるときは、タイムレコーダの重さを十分支えられる壁にしっかりと固定してください。落ちたりして、けがや故障の原因になります。● 電源プラグは定期的に清掃してください。長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。● インクリボンを交換する際、万一、指や体にインクが付着した場合は、すぐに石鹸水で洗い流してください。
	<ul style="list-style-type: none">● USBメモリやパソコンに保存した内容は、永久的な保存はできません。故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。予めご了承ください。

▶ 使用上の注意

機械のトラブルを避けタイムレコーダの故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

- タイムレコーダの汚れを落とす際には乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶媒(アルコール、ベンジン、シンナーなど)や濡れ雑巾などは使用しないでください。機械が変形したり、変色することがあります。
- トラブルの原因になりますので、次のような場所では使用および保管をしないでください。
 - ・ 直接日光の当たる場所やヒーターなど熱源に近い場所
 - ・ ホコリや湿度の多い場所
 - ・ 振動や衝撃の加わる場所
 - ・ 温度が0℃以下、40℃以上になる場所で使用しないでください
 - ・ 温度が-20℃以下、60℃以上になる場所に保管しないでください
 - ・ 結露する場所
 - ・ ゴキブリなどのいる場所
- 落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。
- タイムカードは必ず専用の「ER-Sカード」または「ER-UDカード」をお使いください。また、折れ曲がったり、破れたり、濡れたカードは絶対に使用しないでください。
- インクリボンは必ず専用の「ER-IR103」をお使いください。
- カードの横のパンチ穴をふさいだり、破損させたりしないでください。タイムレコーダは、タイムカードのパンチ穴を読み取って印字欄を決定します。
- タイムカードを強く押し込んだり、印字中に抜いたりしないでください。カードは自動的に引き込まれ、自動的に戻ります。
- WindowsおよびExcellは米国マイクロソフト社の登録商標です。

もくじ

はじめに	2
本書の表記について	2
安全にお使いいただくために	2
使用上の注意	5
もくじ	6
第1章 導入設置	8
ER-110SUW/USBの概要	8
ご使用までの準備の流れ	8
カバーを開けたとき	10
付属品を確認する	10
設置方法とカードの入れ方	11
初期設定	13
運用と設定の概要	15
導入時の設定	17
タイムカードの発行	22
無記名のタイムカードを発行する	22
電波時計を使う	23
第2章 詳細設定	25
設定項目一覧	25
時計合わせ	26
締日を設定する	27
日付変更時刻に関して	28
使用カードを設定する	31
印字パターンを設定する	32
現在日を設定する	34
コントラストを設定する	35
フォルダ作成	36
フォーマット読み込み	37
設定読み込み	38
ログ書き出し	39
レポート印刷	40
パスワードを設定する	42
インクリボンを交換する	43

第3章 詳細設定(PC)	45
設定項目一覧	45
1. 設定	47
2. 打刻フォーマット	56
3. 社員マスタ	60
第4章 日常の操作	61
毎日の打刻操作	61
第5章 集計	63
1. タイムカードで集計する	63
2. 打刻データからパソコンで集計する	64
第6章 その他	65
こんなときは	65
エラー一覧	66
メンテナンス	68
消耗品のお買い求めは	69
商品仕様	70
保証書とアフターサービス	70

第1章 導入設置

ER-110SUW/USB の概要

受信状態をよくするために、なるべく窓の近くに設置してください。鉄筋のビル内では、窓から遠くなると著しく電波が弱くなります。

- 西暦年、月、日、時刻は設定済みです。また締日と使用するカードと印字パターン(集計方法)は初めて電源を入れたときに設定します。
- USBメモリを使って、打刻データをパソコンで確認するためには、事前に以下の設定をする必要があります。
本体の設定をCSV形式でUSBメモリにコピーし、エクセルなどの表計算ソフトでユーザー様の設定に変更します。変更したCSV形式のファイルを本体に登録します。締め後または途中で打刻データをUSBメモリに書き込み、PCで確認します。
- USBメモリは付属されていません。お客様で別途ご用意をお願いします。暗号化機能のない32GB以下のFAT/FAT32フォーマットのUSBメモリに対応しています。
- テレワークを実施したなど打刻ができなかったときには、特殊勤務打刻で事前・事後に打刻することができます。特殊勤務はTW(テレワーク)・公休・出張・特別から選択できます。
- 電波時計ユニットが標準電波を受信して自動的に時計を補正します。

ご使用までの準備の流れ

① お客様登録を済ませる



② 付属品を確認する

 参照 P.10



③ 各部の働きを理解し、タイムレコーダを設置する

 参照 P.9~P.12



④ 初期設定を行う

 参照 P.13~P.24



⑤ 詳細設定を行う(本体とPC)

 参照 P.25~P.60



⑥ 使い始める

 参照 P.61

まずは別紙『お客様登録のお願い』より登録をお願いいたします。登録することで、保証期間が3年からさらに1年延長されます。

各部名称と働き

カード挿入口

タイムカードを挿入します。

フロントカバー

インクリボンの交換や、タイムレコーダを設定するときに取り外します。

表示画面

時刻・曜日などを表示します。

出勤・外出・戻り・退勤ボタン

通常はボタンを押さなくても自動的にこれらが選択されます。ボタンを押してからカードを挿入すると、ボタンが優先されます。(過去/未来の時刻で印字はできませんが、特殊印字マークは可能です。)

徹夜ボタン

徹夜明けの退勤時に、このボタンを押してからカードを挿入します。

USBコネクタ

USBメモリを挿入します。
※シャッターはスライドして開閉します。ホコリ防止のため、USBメモリ未使用時は、シャッターを閉じてください。

電波受信ユニット

標準電波を受信し、自動的に時計を補正します。

 (P.8)

バックカバー (壁掛け用プレート)

壁掛けで使用するときに取り外し、フックとして使います。

 (P.12)

電源プラグ

コンセントに差込んでください。

 電源コードは束ねたまま使用しないでください。

カバーを開けたとき

設定1	時計合せ	締日	日付変更	使用カード	印字パターン	現在日	コントラスト	設定1
設定2	フォルダ作成	フォーマット読込	設定読込	ログ書出	レポート印刷	パスワード	交換リセット	設定2

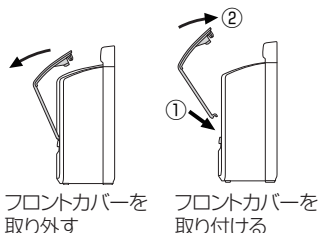
専用タイムカード ●ER-Sカード ●ER-UDカード 専用インクリボンカセット ●ER-IR103	設定開始 (3秒押す) ▶項目送り	カード発行 (3秒押す) ▲送り	集計 (3秒押す) ▼戻し	打刻書出 (3秒押す) ■セット	強制受信 ※電波時計搭載時 (3秒押す) ⌚時計に戻す
--	-------------------------	------------------------	---------------------	------------------------	--------------------------------------

▶ フロントカバーを開閉する

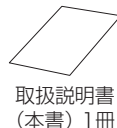
タイムレコーダを設定するときや、インクリボンを交換するときに取り外します。

参照 詳細設定(P.25)、
インクリボンの交換(P.43)

お願い フロントカバーを外した状態でタイムカードを入れないください。けがや故障の原因になります。



付属品を確認する



※USBメモリは付属していません

MEMO 付属品はアフターサービス部品として取り扱っております。紛失の際は、お買い求めの販売店、またはマックスエンジニアリングサービス(株)各サービスステーション窓口にご注文ください。**参照** (P.71)

お願い 操作がわからなくなったときは、本書をお読みください。そのため、いつでも取り出せる場所に本書を大切に保管してください。

設置方法とカードの入れ方

⚠ 注意



- タイムレコーダは必ず水平に設置してください。不安定な場所に設置すると、倒れたり、台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。
- 壁に掛けるときは、タイムレコーダの重さを十分支えられる壁にしっかりと固定してください。落ちたりして、けがや故障の原因になります。

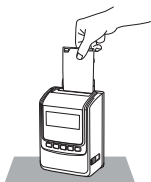


- 設置場所を移動するときや、壁に取り付けるときや取り外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行ってください。タイムレコーダが不意に動作したとき、けがや故障の原因になります。

お願い

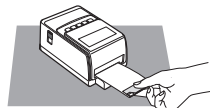
カードが引き込まれ始めたら、手を離してください。また、カードの動きが完全に止まるまで、タイムレコーダから抜かないでください。打刻印字が上下の行にずれる場合があります。

▶ 置いて使う場合



- タイムカードの印字する面が手前になるように、カード挿入口にカードを挿入します。自動的にカードが引き込まれ、打刻の後、自動的に排出されます。
- 通常は印字する段や印字欄が自動的に選択されます。

▶ 寝かせて使う場合



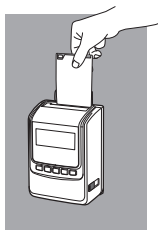
- タイムカードの印字する面が上向きになるように、カード挿入口にカードを挿入します。自動的にカードが引き込まれ、打刻の後、自動的に排出されます。
- 通常は印字する段や印字欄が自動的に選択されます。

参照 (P.49)

※時計表示が逆さまになり、24時間表示になります。

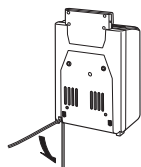


▶ 壁に掛けて使う場合

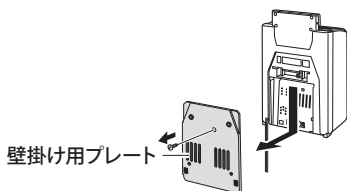


- タイムカードの印字する面が手前になるように、カード挿入口にカードを挿入します。自動的にカードが引き込まれ、打刻の後、自動的に排出されます。
- 通常は印字する段や印字欄が自動的に選択されます。

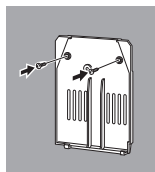
1 電源コードを本体底面方向にずらす



2 背面のネジを取り外し、壁掛け用プレートを取り外す

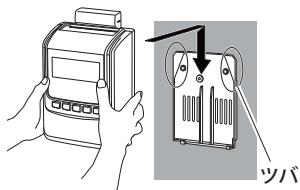


3 付属のネジ2個を使い、壁掛け用プレートを壁に取り付ける



4 タイムレコーダを壁掛け用プレートにスライドさせながら取り付ける

お願い 壁掛け用プレートの両側のツバがタイムレコーダにきっちり納まっていることを確認してください。



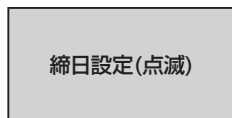
初期設定

初めて電源を入れた時に初期設定の画面が表示されますので、「縮日」、「使用カード」、「印字パターン」の順に設定します。

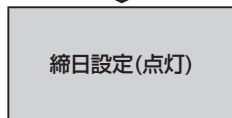
[送り]または[戻し]ボタンで設定値を変更し、[セット]ボタンで次へ進みます。

また、[時計に戻す]ボタンで前の設定項目に戻れます。

縮日・使用カード・印字パターンの順に設定します。



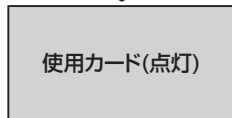
セット



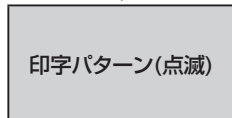
セット



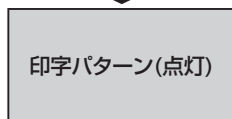
セット



セット



セット



①初期設定は20日です。月末縮日の場合は31に設定し、[セット]ボタンを押す。



②縮日を確認し、[セット]ボタンを押す。



③初期設定はSカードになっています。使用するカードを選択し、[セット]ボタンを押す。
S 「ER-Sカード」
UD 「ER-UDカード」



※「ER-UDカード」は印字パターンに制限があります。次ページを参照してください。

④使用カードを確認し、[セット]ボタンを押す。



⑤初期設定は使用カードによって異なります。印字パターンを選択し、[セット]ボタンを押す。



※印字パターンについては次のページを参照ください。

⑥印字パターンを確認し、[セット]ボタンを押す。初期設定が完了し、現在時刻が表示されます。

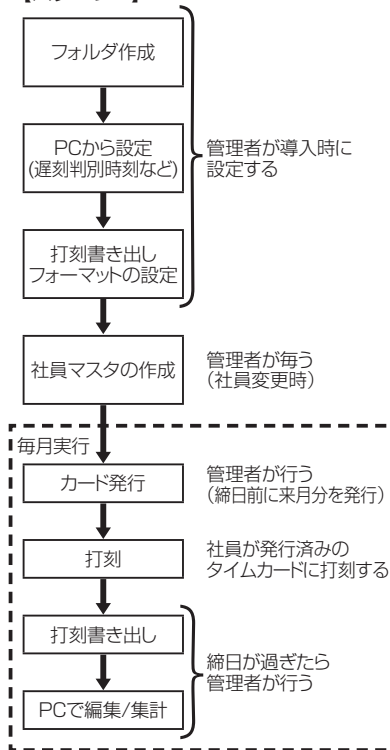


運用と設定の概要

この機種では、打刻データをPCに取り込んで使用することが可能です。運用方法によって、設定方法が変わりますので、下記を参考に設定を行ってください。

運用方法	要望	機能
Excel などの 表計算ソフトで 編集 / 集計する	同じ社員は毎月同じ 番号で管理したい	【パターン A】 社員情報ファイルを作成し、毎月、カード発行機能で社員とタイムカードと紐づけします。社員には発行済みのタイムカードを使用してもらいます。 書き出す打刻データに社員番号や社員名を含めるように設定することで、PCに取り込んだ際にどの社員のデータなのかを判別しやすくなります。
	タイムカードに社員 番号と社員名を印字 したい	
	手軽に始めたい	【パターン B】 社員に新品のタイムカードを使用してもらいます。 月の初めにカードを挿入すると、打刻と同時に自動でカード番号が印字されます。 書き出す打刻データにカード番号を含めるよう設定することで、タイムカードと打刻データを照合してどの社員のデータなのか判別してください。
給与ソフトなど 他のソフトで打刻 データを使用する	打刻データに社員番 号を付けたい	【パターン A】 USB メモリ内に社員番号を含む社員情報ファイルを作成し、毎月、カード発行機能で社員とタイムカードと紐づけします。 社員には発行済みのタイムカードを使用してもらいます。 書き出す打刻データに社員番号を含めるように設定することで、他のソフトにインポートしやすくなります。(お使いのソフトのインポート形式に応じて、データの追加や形式の変更などを行ってください)
タイムレコーダで 集計する	タイムカードに月の集 計結果を印字したい	【パターン C】 前月のカードの「後半」面を手前にして、タイムレコーダに挿入すると、集計結果が印字されます。 (ER-S カードのみ・ER-UD カードは不可)

【パターンA】

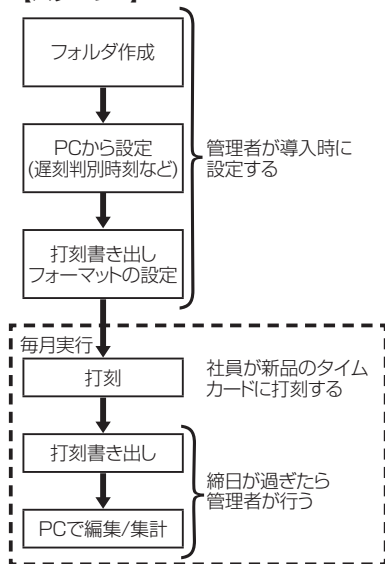


※来月分のカード発行をすることで、社員が使用するタイムカードを早めに準備できます。

※社員の入退社などの場合は社員マスタを変更してから発行します。未使用のカード番号ならば今月内でも可能です。

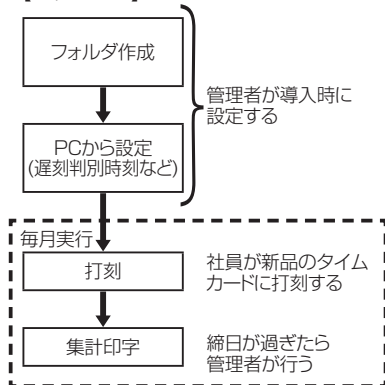
※打刻書き出し後も書き出しフォーマットの変更が可能です。フォーマット読込を実行後に再度打刻書き出しを行います。

【パターンB】



※打刻書き出し後もフォーマットの変更が可能です。フォーマット読込を実行後に再度打刻書き出しを行います。

【パターンC】



導入時の設定

【フォルダ作成】

① タイムレコーダにUSBメモリを挿入する

② 設定グループを選ぶ

[設定開始]ボタンを3秒以上押し続けます。数字が点滅したら、[項目送り]ボタンを1回押して、設定グループが2になっていることを確認し、[セット]を押します。



③ フォルダ作成を実行する

[セット]ボタンを押すと点滅表示が停止し、フォルダ作成が完了するとブザーが1回鳴り、点滅表示に戻ることを確認します。



お願い フォルダの名前は変更しないでください。本体で読み取れなくなります。

：【PCから設定】

① フォルダ作成したUSBメモリをPCに挿入する

② Excelなどの表計算アプリでファイル「110USB_設定.csv」を開く

【USBドライブ】

└ ER-110USB
└ 110USB_設定.csv

③ ファイル内のコメントに従って設定値を入力する

【参照】 (P.47)

④ ファイルを上書き保存し、PCからUSBメモリを取り出す

⑤ タイムレコーダにUSBメモリを挿入する

⑥ [設定開始]ボタンを3秒以上押し続ける

数字が点滅したら、[項目送り]ボタンを1回押して、設定グループを2にしてから[セット]を押します。

[項目送り]でカーソルを[設定読み込]に合わせます。



⑦ 設定読み込みを実行する

[セット]ボタンを押すと点滅表示が停止し、設定読み込みが完了するとブザーが1回鳴り、点滅表示に戻ります。エラーの場合はUSBメモリに「ファイル読み込みログ.CSV」が作成され、エラーの原因が記載されます。記載のエラー原因を参考に設定ファイルを修正し再度読み込みをおこなってください。

8 設定を終える

[時計に戻す] ボタンを押す。USBメモリーを取り出し、フロントカバーを取り付ける。

※注意

使用(打刻)開始後に「縮日」「日付変更時刻」「使用カード」の設定を変更する場合、内部メモリーの打刻データのクリアが必要です。

変更前に打刻書き出しでUSBメモリーに打刻データを書き出し、USBメモリーからPCにコピーしておくことをお勧めします。変更を確定しようすると警告画面が表示されます



ここで[セット]ボタンを押すとデータがクリアされます。

[時計に戻す]ボタンを押すとデータはクリアせず時計表示へ戻ります。

【打刻データの書き出しフォーマットの設定】

- 1 フォルダ作成したUSBメモリーをPCに挿入する
- 2 Excelなどの表計算アプリでファイル「110USB_打刻フォーマット.csv」を開く
[USBドライブ]
└ ER-110USB
 └ 110USB_打刻フォーマット.csv
- 3 ファイル内のコメントに従って設定値を入力する
[参照] (P.56)

- 4 ファイル内のコメントに従って設定値を入力する

※CSV形式で保存してください。

- 5 タイムレコーダにUSBメモリーを挿入する
- 6 [設定開始]ボタンを3秒以上押し続ける

数字が点滅したら、[項目送り]ボタンを1回押して、設定グループを2にしてから[セット]を押します。

[項目送り]でカーソルを[フォーマット読込]に合わせます。

- 7 フォーマット読み込みを実行する
[セット]ボタンを押す



点滅表示が停止し、フォーマット読み込みが完了するとブザーが1回鳴り、点滅表示に戻ります。

エラーの場合はUSBメモリーに「ファイル読み込みログ.CSV」が作成され、エラーの原因が記載されます。記載のエラー原因を参考に設定ファイルを修正し再度読み込みをおこなってください。

8 設定を終える

[時計に戻す] ボタンを押す。USBメモリを取り出し、フロントカバーを取り付ける。

※ファイル読み込みエラー
USBメモリに「ファイル読み込みログ.csv」が作成されます。
PCでこのファイルを開くと、エラー項目を確認できるので、これを参考にUSBメモリ内のファイルを修正後、再度タイムレコーダで読み込みを行ってください。

※最初からやり直す場合はPCでUSBメモリ内の該当ファイルを削除し、フォルダ書出から行ってください。

【社員マスタの作成】

- 1 フォルダ作成したUSBメモリをPCに挿入する

- 2 Excelなどの表計算アプリでファイル「110USB_打社員マスタ.csv」を開く

[USBドライブ]

- ↳ ER-110USB
- ↳ 110USB_社員マスタ.csv

- 3 ファイル内のコメントに従って社員情報を入力する

 (P.60)

- 4 ファイルを上書き保存し、PCからUSBメモリを取り出す

※CSV形式で保存してください。

【カード発行】

- 1 フロントカバーを取り外す
- 2 社員マスタを保存したUSBメモリをタイムレコーダに挿入する
- 3 [カード発行] ボタンを3秒以上押す
- 4 発行する月度を [送り]、[戻し] ボタンを押して選択し、[セット] を押す



- 5 社員マスタファイル内のカード番号が表示されます。



※エラーの場合はUSBメモリに「ファイル読み込みログ.CSV」が作成され、エラーの原因が記載されます。記載のエラー原因を参考に設定ファイルを修正し再度読み込みをおこなってください。

※発行済みのカード番号は表示されません。

- 6 フロントカバーを取り付ける

7 新品のタイムカードを挿入する

発行印字が行われます。



8 タイムカードを引き抜くと次のカード番号が点滅表示されるので、⑦から繰り返す

全ての発行が完了すると「End」が表示されます。



※カード番号をスキップする場合、[送り] ボタンを押します。フロントカバーを取り外してボタンを押し、タイムカードの挿入前にフロントカバーを取り付けてください。

9 設定を終える

フロントカバーを取り外し、[時計に戻す] ボタンを押す。
USBメモリを取り出し、フロントカバーを取り付ける。

[打刻書き出し]

1 フロントカバーを取り外す

2 USBメモリをタイムレコーダに挿入する

3 [打刻書出] ボタンを3秒以上押す



4 書き出す月度を [送り]、[戻し] ボタンを押して選択し、[セット] を押す

表示の点滅が停止し、USBメモリに打刻データが書き出されます。

※下記のように書き出し年月日時分と対象月度のファイル名で保存されます。

[USBドライブ]

└ ER-110USB

└ 202210011030_9月度.csv

5 書き出しが完了するとブザーが鳴り、点滅表示に戻ります。

※エラーが表示された場合はP.66参照。

※発行済みのカード番号は表示されません。

6 設定を終える

[時計に戻す] ボタンを押す。
USBメモリを取り出し、フロントカバーを取り付ける。

【PCで編集/集計】

USBメモリに書き出した打刻データをエクセルなどの表計算ソフトで開き、ご使用の給与ソフトや集計設定に合わせて編集/修正を行います。

※下記のように書き出し年月日時分と対象月度のファイル名で保存されています。

[USBドライブ]

└ ER-110USB

└└ 打刻データ202210011030_9月度.csv

タイムカードの発行

作成した『社員マスタ』のデータを使って、記名済みのタイムカードを発行できます。また『社員マスタ』を利用しなくても無記名のタイムカードを発行することも可能です。

▶ 記名済みのタイムカードを発行する

記名済みのタイムカードを発行するには、『社員マスタ』を事前に準備し、あらかじめUSBメモリに書き出しておきます。

① フロントカバーを外し、USBメモリをタイムレコーダに挿入する

② カード発行ボタンを3秒以上長押しをする

※発行する月が点滅表示されます。

『送り』『戻し』で発行したい月を表示させ、セットを押します。

③ 発行可能なカード番号が点滅表示される

『送り』または『戻し』を押して、発行したい番号を表示させて、新しいタイムカードの「前半」面を手前にして挿入します。

MEMO 社員マスタ内に登録されていないカード番号は表示されません。

④ 1枚のカード発行が終わると、次のカード番号が表示される

未使用のタイムカードを順次挿入してください。

⑤ 全てのカードの発行が終わると『End』と表示されるので、『時計に戻す』を押す

⑥ フロントカバーを取り付ける

無記名のタイムカードを発行する

使用する月の最初の打刻時にカード発行を自動で行います。

月度の後半から打刻する場合はカードの前半(Sカード)オモテ面(UDカード)を手前にして挿入してカード発行させてからタイムカードを裏面にして挿入して打刻してください。

電波時計を使う

標準電波を受信して自動的に時計を補正します。標準電波を受信できないときは、クォーツ時計の精度で動作します。

- 受信状態をよくするために、なるべく窓の近くに設置してください。鉄筋のビル内では、窓から遠くなると著しく電波が弱くなります。
- 木造の建物では、縦置きにしたタイムレコーダを福島県または佐賀県の方向に向けてると受信しやすくなります。
- 次のような場所では、電波を受信しにくくなります。



▶ タイムレコーダに電波が届くか確認する

- 1 設置予定の場所にタイムレコーダを置き、電源プラグをコンセントに差し込む

- 2 同梱の電波受信ユニットをタイムレコーダに取り付ける

※導入直後は電波受信ユニットが充電されていないため、そのままでは作動できません。ER本体にセットし、ひと晩放置してフル充電が必要です。

- 3 2~3日経過後、表示画面を確認する

電波受信マークが表示されていれば、その設置場所で標準電波を受信できます。タイムレコーダの時計が自動的に補正されます。



MEMO 電波の特性により、夜間や休日に受信しやすくなります。電波受信マークが表示されないときは、電源を入れたタイムレコーダをそのまま置いて、約1週間後に改めて確認してください。それでも受信しないときは、次ページをお読みください。

- ▶ アンテナマーク 電波受信ユニットが差込まれていると表示
- 📶 電波マーク 点灯：受信成功(30分後に消灯)
点滅：受信中
- ⊙ 受信完了マーク 時計表示同期後2週間点灯

▶ 電波受信ユニット単体で電波を受信する

タイムレコーダの設置場所に標準電波が届かない場合は、本機の電波受信ユニットを取り外して標準電波を受信させます。

MEMO 電波受信ユニットを取り外しても、タイムレコーダはそのまま使用できます。

- 1 電波受信ユニットを取り外す
- 2 福島県または佐賀県を向いた窓に、電波受信ユニットを持って行く
- 3 「良い」ランプが2回以上点滅することを確認し、10分～30分待つ

※「悪い」ランプしか点滅しないときは、場所を変えます。

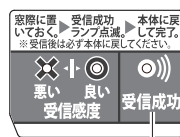
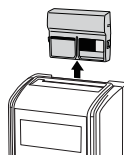
- 4 「受信成功」ランプの点滅を確認する

- 5 タイムレコーダに電波受信ユニットを取り付け、表示画面の電波受信マーク(📶)を確認する

※電波受信マークが表示されないときは、タイムレコーダに取り付けて1時間以上充電してから、取り外して別の場所で受信してください。

MEMO 電波受信ユニットの「受信成功」ランプは、点滅から30分後に省電力のため消灯します。

MEMO 電波受信ユニットは中継器ではありません。受信後は必ずタイムレコーダに取り付けてください。



点滅を確認する



電波受信マーク

▶ 受信できる場所が見つからないとき

受信できない場合は、電波状態が良くなる夜間や休日に受信させます。

お願い 取り外した電波受信ユニットは、約3日間動作しています。3日以内にタイムレコーダに取り付けてください。

- 1 夜間を含めて半日程度、電波受信ユニットを窓の近くに置く
※翌日に、タイムレコーダに電波受信ユニットを取り付けて、表示画面を確認します。
- 2 土曜/日曜などの休日に、電波受信ユニットを窓の近くに置く
※月曜に、タイムレコーダに電波受信ユニットを取り付けて、表示画面を確認します。

参照 電波時計(P.50)

第2章 詳細設定(本体)

設定項目一覧

設定項目は2つのグループに分かれています。必要な項目を設定してください。

[設定変更] ボタンの項目は下図をご覧ください。



設定グループ	設定項目	設定内容	初期値
設定1	時計合せ	時計を合わせる	出荷時調整
	縮日	縮日を設定する	20日
	日付変更	日付を変更する時刻を設定する	3:00
	使用カード	使用するタイムカードを設定する	ER-Sカード
	印字パターン	カードにどのように印字するかを設定する	出退4欄
	現在日	現在の西暦と月日を設定する	出荷時調整
	コントラスト	表示画面のコントラストを調節する	出荷時調整
設定2	フォルダ作成	パソコンで設定するフォルダを作成する	
	フォーマット読込	フォーマットを読み込む	
	設定読込	設定を読み込む	
	ログ書出	ログを書き出す	
	レポート印刷	設定内容をカードに印字する	
	パスワード	設定変更時にパスワードを要求するよう設定する	設定なし
	交換リセット	インクリボンの交換後に、データをリセットする	通常
カード発行ボタン	カード発行	USBに入った社員マスタからカードを発行します	
集計ボタン	集計	集計結果をカードに印字します	
打刻書出ボタン	打刻データの書出	打刻データをUSBメモリに書き出します	
時計に戻すボタンの長押し	電波時計の強制受信	電波時計を手動で受信します	

※パスワードを設定している場合はパスワードを入力しないと設定できない項目があります。事前にパスワードを確認してください。

※注意: 打刻開始後に「縮日」「日付変更時刻」「使用カード」の設定を変更する場合、内部メモリの打刻データがクリアが必要です。

時計合わせ

初期値 工場出荷時に設定



○受信完了マークが点灯している場合は、時計合わせは必要ありません。

受信完了マークが点灯していない場合や電波受信ユニットを利用していない場合で、時計がずれている場合に設定します。

1 設定グループを選ぶ

[設定開始] ボタンを3秒以上押し続け、設定グループが1になっていることを確認します。

2 項目を選ぶ

カーソルが時計合わせになっているのを確認して、[セット]を押します。

3 時を設定する

時の部分が点滅しているので、[送り]または「戻し」で時を合わせ、[セット]を押します。

4 分を設定する

分の部分が点滅しているので[送り]または「戻し」で分を1分後に合わせ、[セット]を押します。

※秒のカウントが開始します。

5 秒を00に合わせる

正しい時計で秒針が00になるときに、[セット]を押します。

※押すと秒が00に戻ります。

6 設定を終える

[時計に戻る]を押して、設定は完了です。

※続けて設定する場合は、[項目送り]で設定を変えてください

締日を設定する

初期値 20日 (初回電源投入時に設定します)

初期値は20日です。20日以外の場合のみ設定を変更してください。
ここでは、締日を末締(31日)に変更する場合を例に説明します。

MEMO この操作を行うと、前日および当日までの出勤・退勤データおよび集計データがクリアされます。

1 設定グループを選ぶ

[設定開始] ボタンを3秒以上押し続け、設定グループが1になっていることを確認し、[セット]を押します。

設定グループの番号



2 項目を選ぶ

[項目送り] を押して、カーソルが締日になっているのを確認して、[セット]を押します。

カーソル



3 設定したい締日を選ぶ

[送り] または[戻し]を押して、設定したい締日に合わせ、[セット]を押します。
※末締は31に合わせます



点滅から点灯に表示が変化する

MEMO

画面に「dAtA」と「cLEAr」が点滅した場合は、点滅中(60秒以内)にもう一度[セット]を押します。

4 設定を終える

[時計に戻る]を押して、設定は完了です。
※続けて設定する場合は、[項目送り]で設定を変えてください。

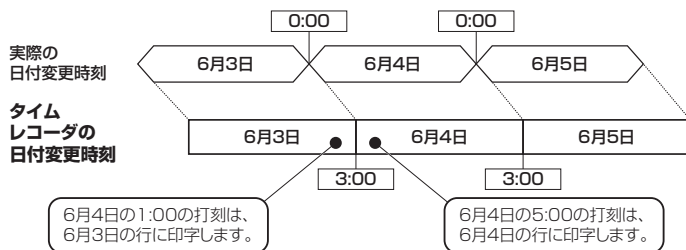
日付変更時刻に関して

初期値 3:00

日付変更時刻とは、タイムレコーダ上での日付が変わる時刻です。本製品では、午前3時に日付が変わるものとして、あらかじめ設定されています。これにより、午前0時を過ぎて3時までは、カードを挿入した際に前日の勤務とみなし、退勤打刻ができます。日付変更時刻は、できるだけどなたも働く可能性の低い時間に設定すると効果的です。24時間営業で勤務時間帯が不規則な場合は、日付変更時刻は0:00に設定し、午前0時を過ぎて退勤する場合は、[徹夜]ボタンを押してから、カードを挿入します。

▶ 昼間の勤務が中心で深夜0時を越えて、働く可能性がある場合

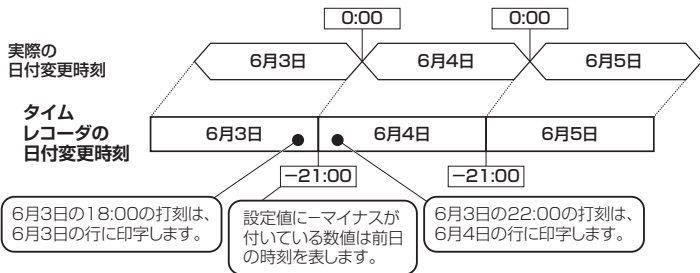
日付変更時刻を3:00(出荷時設定)など早朝に設定すると有効です。
3:00に設定すると、6月4日の勤務は6月4日3:00から6月5日2:59になります。



※3:00以降に退勤を押す場合は、[徹夜]ボタンを押してからカードを挿入することで前日からの退勤となります。

▶ 夜から昼間にかけての勤務が中心で、深夜0時前から出勤する可能性がある場合

日付変更時刻に[-21:00]などマイナスを付け、前日の夜に設定します。設定する時刻は誰も出勤することがない時刻に設定します。
-21:00に設定すると、6月4日は6月3日21:00から6月4日20:59になります。



日付変更時刻を設定する

初期値 3:00

MEMO この操作を行うと、前日および当日までの出勤・退勤データおよび集計データがクリアにされます。

① 設定グループを選ぶ

[設定開始] ボタンを3秒以上押し続け、設定グループが1になっていることを確認し、[セット]を押します。

設定グループの番号



② 項目を選ぶ

[項目送り]を押して、カーソルが[日付変更]になっているのを確認します。

カーソル



③ 設定したい時刻を選ぶ

[送り] または[戻し]を押して、設定したい時刻(24時間表記)に合わせ、[セット]を押します。

※マイナスの設定もできるので、ご注意ください。



点滅から点灯に表示が変化する

MEMO

画面に「dAtA」と「cLEAr」が点滅した場合は、点滅中(60秒以内)にもう一度[セット]を押します。

④ 設定を終える

[時計に戻る]を押して、設定は完了です。

※続けて設定する場合は、[項目送り]で設定を変えてください。

使用カードを設定する 初期値 ER-Sカード(初回電源投入時に設定します)

使用するカードをER-SカードかER-UDカードを選択します。

MEMO この操作を行うと、前日および当日までの出勤・退勤データおよび集計データがクリアにされます。

1 設定グループを選ぶ

[設定開始]ボタンを3秒以上押し続け、設定グループが1になっていることを確認し、[セット]を押します。

設定グループの番号



2 項目を選ぶ

[項目送り]を押して、カーソルが[使用カード]になっているのを確認します。

カーソル



3 使用したいカードを選ぶ

[送り] または [戻し] を押して、設定したいカード(ER-SカードまたはER-UDカード)に合わせ、[セット]を押します。

MEMO

画面に「dAtA」と「cLEAr」が点滅した場合は、点滅中(60秒以内)にもう一度 [セット] を押してください。

4 設定を終える

[時計に戻る]を押して、設定は完了です。
※続けて設定する場合は、[項目送り]で設定を変えてください。

MEMO

「ER-Sカード」は前半16段・後半15段、「ER-UDカード」は前半15段・後半16段で印字されます。

設定 1 の設定項目

選んだ集計項目について、その日の時間数(日毎集計)と、月初から当日までの合計時間数(累計)の一方、または両方をカードに印字できます。印字パターンは前ページの5種類から選択します。

参 照 印字パターンを設定する(P.32)

1 設定グループを選ぶ

[設定開始]ボタンを3秒以上押し続け、設定グループが1になっていることを確認し、[セット]を押します。

設定グループの番号



2 項目を選ぶ

[項目送り]を押して、カーソルが[印字パターン]になっているのを確認します。

カーソル



3 印字パターンを選ぶ

[送り] または[戻し]を押して、設定したい印字パターンに合わせ、[セット]を押します。



点滅から点灯に表示が変化する

4 設定を終える

[時計に戻る]を押して、設定は完了です。
※続けて設定する場合は、[項目送り]で設定を変えてください。

MEMO

集計に関する細かい設定はP51を参照

現在日を設定する

初期値 工場出荷時に設定

現在の西暦と月日を設定できます。工場出荷時に設定されていますが、内蔵電池が消耗したり、メンテナンスのためにオールクリアを行ったりして、現在日の設定が消えたときに行ってください。

お願い 打ち忘れや、まとめ打ちのために現在日を変更しないでください。保存されているデータが消え、正しく集計されなくなるだけでなく、予測不能な誤作動や故障の原因になります。

1 設定グループを選ぶ

[設定開始]ボタンを3秒以上押し続け、設定グループが1になっていることを確認し、[セット]を押します。

設定グループの番号



2 項目を選ぶ

[項目送り]を押して、カーソルが[現在日]になっているのを確認します

カーソル



3 現在日を設定する

[送り]または[戻し]を押して、設定したい現在日に合わせ、[セット]を押します。先に『年』を設定し、セットを押すと『月日』の設定に変わります。



点滅から点灯に表示が変化する

MEMO

画面に「dAtA」と「cLEAr」が点滅した場合は、点滅中(60秒以内)にもう一度[セット]を押します。

4 設定を終える

[時計に戻る]を押して、設定は完了です。

※続けて設定する場合は、[項目送り]で設定を変えてください。

コントラストを調整する

初期値 工場出荷時に設定

表示画面のコントラスト(弱: cnt1~強: cnt9)を設定します。

1 設定グループを選ぶ

[設定開始]ボタンを3秒以上押し続け、設定グループが1になっていることを確認し、[セット]を押します。

設定グループの番号



2 項目を選ぶ

[項目送り]を押して、カーソルが[コントラスト]になっているのを確認します。

カーソル



3 コントラストを調整する

[送り] または[戻し]を押して、コントラストを調整し、[セット]を押します。



点滅から点灯に表示が変化する

4 設定を終える

[時計に戻る]を押して、設定は完了です。
※続けて設定する場合は、[項目送り]で設定を変えてください。

フォルダ作成

初期値 なし

本体の設定などパソコンで設定するために必要なフォルダを本体に挿入したUSBメモリに作成します。フォルダを作成する前に、USBメモリを本体に挿入してください。フォルダ作成中やデータの書き込み・読み込み中はUSBの抜き差しは行わないようにお願いします。

① 設定グループを選ぶ

[設定開始]ボタンを3秒以上押し続けます。数字が点滅したら、[項目送り]ボタンを1回押して、設定グループが2になっていることを確認し、[セット]を押します。

設定グループの番号



② 項目を選ぶ

[項目送り]を押して、カーソルが[フォルダ作成]になっているのを確認します。

カーソル



③ フォルダ作成を実行する

[セット]ボタンを押すと点滅表示が停止し、フォルダ作成が完了するとブザーが1回鳴り、点滅表示に戻ることを確認します。



点滅から点灯に表示が変化する

④ 設定を終える

[時計に戻る]を押して、設定は完了です。
※続けて設定する場合は、[送る]で設定を変えてください。

フォーマット読み込み

初期値 なし

パソコンで設定したフォーマットを本体で読み込み、本体設定を変更します。

① 設定グループを選ぶ

[設定開始]ボタンを3秒以上押し続けます。数字が点滅したら、[項目送り]ボタンを1回押して、設定グループが21になっていることを確認し、[セット]を押します。

設定グループの番号



② 項目を選ぶ

[項目送り]を押して、カーソルが[フォーマット読込]になっているのを確認します。

カーソル



③ フォーマットを読み込む

[セット]ボタンを押すと点滅表示が停止し、フォーマットの読み込みが完了するとブザーが1回鳴り、点滅表示に戻ることを確認します。



点滅から点灯に表示が変化する

④ 設定を終える

[時計に戻る]を押して、設定は完了です。
※続けて設定する場合は、[項目送り]で設定を変えてください。

設定読み込み

初期値 なし

パソコンで設定したフォーマットを本体で読み込み、本体設定を変更します。

① 設定グループを選ぶ

[設定開始]ボタンを3秒以上押し続けます。数字が点滅したら、[項目送り]ボタンを1回押して、設定グループが2になっていることを確認し、[セット]を押します。

設定グループの番号



② 項目を選ぶ

[項目送り]を押して、カーソルが[設定読み込]になっているのを確認します。

カーソル



③ 設定を読み込む

[セット]ボタンを押すと点滅表示が停止し、設定の読み込みが完了するとブザーが1回鳴り、点滅表示に戻ることを確認します。



点滅から点灯に表示が変化する

エラーの場合はUSBメモリに「ファイル読み込みログ.CSV」が作成され、エラーの原因が記載されます。記載のエラー原因を参考に設定ファイルを修正し再度読み込みをおこなってください。

④ 設定を終える

[時計に戻る]を押して、設定は完了です。

※続けて設定する場合は、[項目送り]で設定を変えてください。

ログ書き出し

初期値 なし

本体のログを書き出します。設定変更など操作した履歴が確認できます。

1 設定グループを選ぶ

[設定開始]ボタンを3秒以上押し続けます。数字が点滅したら、[項目送り]ボタンを1回押して、設定グループが2になっていることを確認し、[セット]を押します。

設定グループの番号



2 項目を選ぶ

[項目送り]を押して、カーソルが[ログ書き出し]になっているのを確認します。

カーソル



3 ログを書き出す

[セット]ボタンを押すと点滅表示が停止し、ログの書き出しが完了するとブザーが1回鳴り、点滅表示に戻ることを確認します。



点滅から点灯に表示が変化する

4 設定を終える

[時計に戻る]を押して、設定は完了です。

※続けて設定する場合は、[項目送り]で設定を変えてください。

レポート印刷

初期値 なし

本体の設定内容をカードに印刷します。

① 設定グループを選ぶ

[設定開始]ボタンを3秒以上押し続けます。数字が点滅したら、[項目送り]ボタンを1回押して、設定グループが2になっていることを確認し、[セット]を押します。

設定グループの番号



② 項目を選ぶ

[項目送り]を押して、カーソルが[レポート印刷]になっているのを確認します。

カーソル



③ 印刷する

印刷したい内容を[送り]で合わせて、タイムカードを挿入すると印刷が開始されます。

01:設定内容

02:電波受信ユニット接続時の受信履歴

03:電波受信ユニット単体での受信履歴



④ 設定を終える

[時計に戻る]を押して、設定は完了です。
※続けて設定する場合は、[項目送り]で設定を変えてください。

設定 2 の設定項目

レポート番号01 設定内容の確認をする。設定内容は下記の順で印字されます。

印字される内容
設定した締日、日付変更時刻
設定した印字パターン
12H/24H 表示、縦置き / 横置き、日付 / 人数
遅刻判別時刻、早退判別時刻
計算開始時刻、計算終了時刻
集計時の丸め方法、丸め単位
自動で退勤扱いとなる切替時刻
パスワードが設定されている場合は*****と印字されます
電波受信ユニット単体での動作モード
バックライト 常時 ON/ 常時 OFF/AUTO
サマータイム開始日、終了日
休憩開始時刻、終了時刻
使用しているカード S カード / UD カード
コントラスト 1 ~ 9
インクリセット日、残量目安
インク使用回数
最後に設定を変更した日
最後にデータクリアを行った日

パスワードの設定をする

初期値 なし

① 設定グループを選ぶ

[設定開始]ボタンを3秒以上押し続けます。数字が点滅したら、[項目送り]ボタンを1回押して、設定グループが2になっていることを確認し、[セット]を押します。

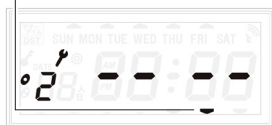
設定グループの番号



② 項目を選ぶ

[項目送り]を押して、カーソルが[パスワード]になっているのを確認します。

カーソル



③ パスワードを設定する

[送り]や[戻し]ボタンで数字を設定し、[セット]で次の桁に移動します。パスワードの設定が完了したら、[セット]を押します。

※パスワードを設定していない状態に戻すには、1桁目を「-」に合わせます。



点滅から点灯に表示が変化する

④ 設定を終える

[時計に戻る]を押して、設定は完了です。

※続けて設定する場合は、[項目送り]で設定を変えてください。

インクリボンを交換する

印字が薄くなったら、またはインクリボン交換時期お知らせマークが表示されたら、早めに専用インクリボン「ER-IR103」（別売）と交換してください。

インクリボン交換時期
お知らせマーク



インクの補充はできません。お求めは、タイムレコーダのお買い上げ店またはお近くの文具・事務機販売店にご用命ください。

⚠ 注意




● 印字直後のプリンタヘッドには絶対に触らないでください。やけどの原因になります。



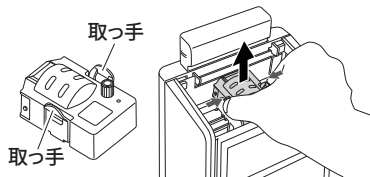
● インクリボンを交換するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。タイムレコーダが不意に動作したとき、けがの原因になります。



● インクリボンを交換する際、万一、指や体にインクが付着した場合は、すぐに石鹸水で洗い流してください。

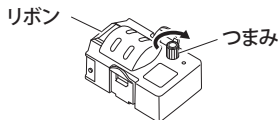
1 電源プラグをコンセントから抜き、タイムレコーダからフロントカバーを取り外す  (P.10)

2 インクリボンの2つの「取っ手」を指ではさんで持ち上げ、取り外す



3 新しいインクリボンを用意し、「つまみ」を矢印方向に回して、リボンのたるみを取る

※リボンがピンと張るまで充分に巻きます。

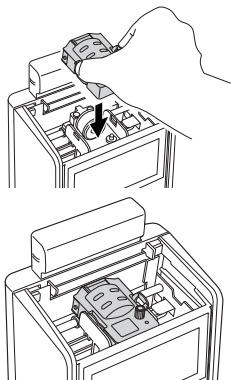


お願い 逆に巻かないでください。使用できなくなります。

MEMO / エンドレスリボンなので、巻き取った部分も印字に使います。

設定 2 の設定項目

- ④ インクリボンをタイムレコーダに取り付ける

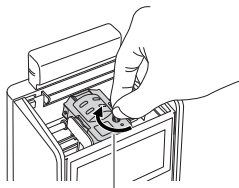


- ⑤ 必ずインクリボンの「つまみ」を矢印方向に5回程度まわして、リボンのたるみを取り除く

※リボンが正しくセットされていること、ねじれないことを確認します。

お願い つまみを逆に回さないでください。使用できなくなります。

MEMO エンドレスリボンなので、つまみを回しても使用回数は減りません。



矢印方向に5回程度まわす

- ⑥ フロントカバーを取り付け、電源プラグをコンセントに差込む
- ⑦ 未使用のタイムカードを挿入して、印字を確認する

- ⑧ フロントカバーを取り外す

- ⑨ 設定グループを選ぶ

[設定開始]ボタンを3秒以上押し続けます。数字が点滅したら、[項目送り]ボタンを1回押して、設定グループが2になっていることを確認し、[セット]を押します。



- ⑩ リセットする

[項目送り]を押して、カーソルが[交換リセット]になっているのを確認し、[セット]を押してリセットします。

インクリボン交換時期お知らせマークの消灯を確認します。



- ⑪ 設定を終える

[時計に戻る]を押して、設定は完了です。
※続けて設定する場合は、[送る]で設定を変えてください。

- ⑫ フロントカバーを取り付けて終了です。

第3章 詳細設定 (PC)

設定項目一覧

PCでの設定は本体操作で使用する『設定』、集計で使用する『社員マスタ』『打刻フォーマット』の3種類あります。必要な項目を設定してください。

P17の『フォルダ作成』にてパソコンで設定するフォルダを作成し、表計算ソフトで開き、必要な項目を設定し、設定したフォルダを本体で読み込みことで設定が完了します。

フォーマット	設定項目	設定内容	初期値
設定	締日	締日を設定する	20(本体の設定値)
	日付変更時刻	日付を変更する時刻を設定する	3:00(本体の設定値)
	印字パターン	カードにどのように印字するかを設定する	0(4欄:本体の設定値)
	使用カード	使用するカードを設定する	0(Sカード)
	時間表記	時間の表示形式を設定する	0(12時間表記)
	表示方向	画面の向きを設定する	0(縦置き)
	日付/ 人数表示	画面に日付か人数のどちらを表示するか設定する	0(日付)
	バックライト	画面のバックライトを設定する	1(常時ON)
	電波時計	電波をいつ受信するか設定する	0(おすすぬ)
	退勤切替時刻	自動で退勤扱いにする時刻を設定する	N(設定なし)
	サマータイム 開始日	サマータイムの開始日を設定する	N(設定なし)
	サマータイム 終了日	サマータイムの終了日を設定する	N(設定なし)
	丸め方法	集計時間の丸めの方法を設定する	0(丸めなし)
	丸め単位	集計時間の丸め単位を設定する	0(5分)
	遅刻判別時刻	遅刻扱いになる時刻を設定する	N(設定なし)
	早退判別時刻	早退扱いになる時刻を設定する	N(設定なし)
	計算時間帯 開始時刻	所定内労働時間の計算を開始する時刻を設定する	N(設定なし)
	計算時間帯 終了時刻	所定内労働時間の計算を終了する時刻を設定する	N(設定なし)
	休憩時間帯 開始時刻	休憩時間の開始時刻を設定する	N(設定なし)
	休憩時間帯 終了時刻	休憩時間の終了時刻を設定する	N(設定なし)
打刻 フォーマット	レコード形式	出力する形式を設定する	0(1日1レコード)
	タイトル行	先頭行に項目名を出力するか設定	1(出力する)
	社員間行数	出力するデータ間の行数を設定する	1(1行)
	月の行数を固定	出力する月の行数を設定する	1(する)
	打刻日時形式	打刻日時の形式を設定する	—
	出力項目	レコードの出力項目を設定する	—
社員マスタ	社員マスタ	社員マスタを設定する	—

1. 設定

ここでは、本体の設定と集計の方法を設定します。

1-1、基本設定

▶ 締日

初期値 20日

初期値は20日です。20日以外に変更する場合のみ設定を変更してください。入力は1～29と31が可能です。未締の場合は31にしてください。

MEMO この設定を変更すると前日および当日までの出勤・退勤データおよび集計データがクリアされます。

① USBメモリ内の『110USB_設定』のファイルを開く

② ★締日の真下のセル内を編集する

入力候補は1から29と31です。

③ 設定が終わったら上書き保存をする

▶ 日付変更時刻

初期値 3:00

日付変更時刻とは、タイムレコーダ上での日付が変わる時刻です。本製品では、午前3時に日付が変わるものとして、あらかじめ設定されています。これにより、午前0時を過ぎて3時まで、カードを挿入した際に前日の勤務とみなし、退勤打刻ができます。日付変更時刻は、できるだけあなたも働く可能性の低い時間に設定すると効果的です。日付変更時刻を越えて退勤打刻をしたい場合は[徹夜]ボタンを押せば、前日の退勤打刻ができます。

入力は-1:00～23:00：前日の1時から当日の23時まで入力可能です。
詳しくはP.28をご覧ください。

MEMO この設定を変更すると前日および当日までの出勤・退勤データおよび集計データがクリアされます。

① USBメモリ内の『110USB_設定』のファイルを開く

② ★日付変更時刻の真下のセル内を編集する

入力候補は-1:00から23:00までです。

③ 設定が終わったら上書き保存をします。

▶ 印字パターン

初期値 0 (4 欄)

出退勤の打刻と集計した労働時間をどのように印字するか設定します。

0	4欄
1	2欄
2	2欄+日毎
3	2欄+累計
4	2欄+日毎+累計

※UDカード使用時は[1]のみ有効

印字パターンのイメージはP14をご覧ください。

- 1 USBメモリ内の『110USB_設定』のファイルを開く
- 2 ★印字パターンの真下のセル内を編集する
入力候補は0、1、2、3、4です。
- 3 設定が終わったら上書き保存をする

▶ 使用カード

初期値 0 (ER-S カード)

使用するカードを0:ER-Sカードか1:ER-UDカードを選択します。

MEMO この設定を変更すると前日および当日までの出勤・退勤データおよび集計データがクリアされます。

- 1 USBメモリ内の『110USB_設定』のファイルを開く
- 2 ★使用カードの真下のセル内を編集する
入力候補は0または1です。
- 3 設定が終わったら上書き保存をする

▶ 時間表記

初期値 0 (12 時間表記)

時計の表示形式を設定します。

例えば、午後1時は12時間表示(12H)では「PM 1:00」と表示され、24時間表示(24H)では「13:00」と表示されます。

ただし、設定に関わらず、カードへの印字は24時間表示になります。

0:12時間表記、1:24時間表記からを選択します。

- 1 USBメモリ内の『110USB_設定』のファイルを開く
- 2 ★時間表記の真下のセル内を編集する
入力候補は0または1です。
- 3 設定が終わったら上書き保存をする

▶ 表示方向

初期値 0 (縦置き)

タイムレコーダを設置するときの向きを0:縦置き、1:横置きから選択します。
時計の表示形式が変わります。

- 1 USBメモリ内の『110USB_設定』のファイルを開く
- 2 ★表示方向の真下のセル内を編集する
入力候補は0または1です。
- 3 設定が終わったら上書き保存をする

▶ 日付／人数表示

初期値 0 (日付)

画面に日付または現在の出勤人数のいずれを表示するか選択します。
出勤人数に設定した場合、出勤時と戻り時に人数が増え、退勤時と外出時に人数が減ります。

0:日付 1:人数

MEMO 日付変更時刻を過ぎると、数字が残っていても退勤忘れとして0人になります。



画面の表示 (日付)



画面の表示 (人数)

- 1 USBメモリ内の『110USB_設定』のファイルを開く
- 2 ★日付/人数表示の真下のセル内を編集する
入力候補は0または1です。
- 3 設定が終わったら上書き保存をする

▶ バックライト

初期値 1 (常時 ON)

バックライトの設定を選択します。

1:常時ON 2:常時OFF 3:操作時ON

「操作時ON」はボタンを押すか、カードを挿入した際に点灯し、カードを引き抜き後、約10秒経過すると消灯します。

- 1 USBメモリ内の『110USB_設定』のファイルを開く
- 2 ★バックライトの真下のセル内を編集する
入力候補は1、2、3のいずれかです。
- 3 設定が終わったら上書き保存をする

MEMO 電波受信ユニットをタイムレコーダに取り付けたまま使う場合は、この設定項目は動作に影響しません。

自動時計合わせのために電波時計ユニットを取り外すとき、取り外した電波受信ユニットに電波をいつ受信させるかの設定を選択します。

0:おすすめ 1:常時受信 2:土日のみ受信

短時間で受信させたい場合は常時受信に、週末に受信させたい場合は土日のみ受信に設定します。

設定	項目	動作
0	おすすめ	取外し後、最大30分受信する。失敗の場合は、3:30、9:30、15:30、21:30にそれぞれ10分ずつ、成功するまで受信する。
1	常時受信	取外し後、成功するまで受信し続ける。
2	土日のみ受信	取外し後、最大5分受信する。失敗の場合は、土日の0:30、6:30、12:30、18:30にそれぞれ10分ずつ、成功するまで受信する。

- 1 USBメモリ内の『110USB_設定』のファイルを開く
- 2 ★電波時計の真下のセル内を編集する
入力候補は0、1、2のいずれかです。
- 3 設定が終わったら上書き保存をする

1-2、集計設定

▶ 退勤切替時刻

初期値 N (設定なし)

初期値(設定なし)では出勤時にカードの印字を忘れると、退勤時に[退勤]ボタンを押さないと出勤時刻として印字されます。

しかし、この項目を設定すると、[退勤]ボタンを押さなくても、設定した時刻以降が自動的に退勤扱いとして印字されます。

① USBメモリ内の『110USB_設定』のファイルを開く

② ★退勤切替時刻の真下のセル内を編集する

入力候補は00:00~23:59またはNになります。

③ 設定が終わったら上書き保存をする

サマータイムに関して

サマータイム制度を導入している場合に設定します。

設定するとその期間中は、時計を1時間早めます。

※開始日と終了日は3週間あけてください

▶ サマータイム開始日

初期値 N (設定なし)

① USBメモリ内の『110USB_設定』のファイルを開く

② ★サマータイム開始日の真下のセル内を編集する

入力候補は、1-1-日(1月1回目の日曜日)から12-5-土(12月の5回目の土曜日)またはNになります。

③ 設定が終わったら上書き保存をする

▶ サマータイム終了日

初期値 N (設定なし)

① USBメモリ内の『110USB_設定』のファイルを開く

② ★サマータイム終了日の真下のセル内を編集する

入力候補は、1-1-日(1月1回目の日曜日)から12-5-土(12月の5回目の土曜日)またはNになります。

③ 設定が終わったら上書き保存をする

集計時間の丸め方に関して

タイムカードに印字された時刻どおりの計算で良い場合は、切り捨てや切り上げをしないため、集計時間の丸め方を設定しません。

切り上げや切り捨てが必要な場合は、次の『丸め方法』と『丸め単位』を設定します。

▶ 丸め方法

初期値 0 (丸めなし)

集計時間の丸め方法を設定します。

0:丸めなし 1:打刻時刻丸め 2:時間数丸め

『打刻時刻丸め』に設定すると、カードを打刻した時刻を丸め単位で丸めた後で、集計結果を印字します。(カードに印字する時刻は丸めません)

例)打刻時刻丸めで、出勤時と退勤時を15分単位に丸める

<出勤 9:01、退勤 17:47のとき>

出勤 9:01 →15分単位で切り上げ → 9:15として計算

退勤 17:47 →15分単位で切り捨て →17:45として計算

実労働時間 = 退勤17:45 - 出勤9:15 = 8:30(カードに印字)

『時間数丸め』に設定すると、カードに打刻した時刻で計算した後で、計算結果を丸め単位で丸め、集計結果として印字します。

<出勤9:01、退勤17:47のとき>

出勤 9:01 →そのまま → 9:01のまま計算

退勤 17:47 →そのまま →17:47のまま計算

実労働時間 = 退勤17:47 - 出勤9:01 = 8:46 → 丸め → 8:30(カードに印字)

MEMO 上記は計算時間帯を設定しなかった場合の例です。計算時間帯を設定した場合は、計算開始時刻を起点として出勤時刻を切り上げ、計算終了時刻を起点として退勤時刻を切り捨てます。右は、計算時間帯の違いによる、出勤時刻の丸め方の例です。

計算開始時刻の設定	15分単位で丸めた場合
9:00	印字 9:01→9:15
8:50	印字 9:01→9:15
8:40	印字 9:01→9:15

1 USBメモリ内の『110USB_設定』のファイルを開く

2 ★丸め方法の真下のセル内を編集する

入力候補は0、1、2のいずれかになります。

3 設定が終わったら上書き保存をする

▶ 丸め単位

初期値 0 (5分)

集計時間の丸め単位を設定します。

0:5分 1:6分 2:10分 3:12分 4:15分 5:20分 6:30分 7:60分

- 1 USBメモリ内の『110USB_設定』のファイルを開く
- 2 ★丸め単位の真下のセル内を編集する
入力候補は0～7までのいずれかになります。
- 3 設定が終わったら上書き保存をする

▶ 遅刻判別時刻

初期値 N (設定なし)

遅刻として判別し、タイムカード上で遅刻を意味する『チ』と印字する時刻を設定します。

00:00～23:59:00時00分から23時59分 または N:設定なし

- 1 USBメモリ内の『110USB_設定』のファイルを開く
- 2 ★遅刻判別時刻の真下のセル内を編集する
入力候補は00:00～23:59またはNになります。
- 3 設定が終わったら上書き保存をする

▶ 早退判別時刻

初期値 N (設定なし)

早退として判別し、タイムカード上で早退を意味する『ソ』と印字する時刻を設定します。

00:00～23:59:00時00分から23時59分 または N:設定なし

- 1 USBメモリ内の『110USB_設定』のファイルを開く
- 2 ★早退判別時刻の真下のセル内を編集する
入力候補は00:00～23:59またはNになります。
- 3 設定が終わったら上書き保存をする

計算時間帯に関して

ある特定の時間を集計したい場合に設定します。

実労働時間を集計した場合は、計算開始時刻と計算終了時刻をそれぞれN：設定なしに設定します。

所定内労働時間を集計したい場合は、計算開始時刻と計算終了時刻に始業時刻と終業時刻を設定します。

早出時間を集計したい場合は、計算終了時刻に始業時刻のみを設定します。

残業時間を集計する場合は、計算開始時刻に終業時刻を設定します。

▶ 計算時間帯開始時刻

初期値 N（設定なし）

- ① USBメモリ内の『110USB_設定』のファイルを開く
- ② ★計算時間帯開始時刻の真下のセル内を編集する
入力候補は00:00～23:59またはNになります。
- ③ 設定が終わったら上書き保存をする

▶ 計算時間帯終了時刻

初期値 N（設定なし）

- ① USBメモリ内の『110USB_設定』のファイルを開く
- ② ★計算時間帯終了時刻の真下のセル内を編集する
入力候補は00:00～23:59またはNになります。
- ③ 設定が終わったら上書き保存をする

休憩時間帯に関して

昼休みなど全員に決まった休憩時間がある場合に設定します。
設定すると所定内労働時間や実労働時間を集計する際に、休憩時間が差し引かれます。

▶ 休憩時間帯開始時刻

初期値 N (設定なし)

- 1 USBメモリ内の『110USB_設定』のファイルを開く
- 2 ★休憩時間帯開始時刻の真下のセル内を編集する
入力候補は00:00~23:59またはNになります。
- 3 設定が終わったら上書き保存をする

▶ 休憩時間帯終了時刻

初期値 N (設定なし)

- 1 USBメモリ内の『110USB_設定』のファイルを開く
- 2 ★休憩時間帯終了時刻の真下のセル内を編集する
入力候補は00:00~23:59またはNになります。
- 3 設定が終わったら上書き保存をする

2、打刻フォーマット

ここではパソコンで打刻データを編集・加工するための設定を行います。
取り込む給与計算ソフト等の仕様に合わせて設定をしてください。

▶ レコード形式

初期値 0 (1日1レコード)

1行に出力する形式を設定します。

1日の打刻を1行で出力する 0:1日1レコード

1回の打刻を1行で出力するので、1日の打刻が複数行になります。

1:1打刻1レコード

<1日1レコード>

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	カードNo	社員番号	フリガナ	年月日	打刻1	打刻2	マーク1	マーク
2	1	90001	効ハシ	2021/4/21	2021/4/21 8:30	2021/4/21 17:15		
3	1	90001	効ハシ	2021/4/22	2021/4/22 8:45	2021/4/22 17:15	遅刻	
4	1	90001	効ハシ	2021/4/23	2021/4/23 8:30	2021/4/23 17:15		
5	1	90001	効ハシ	2021/4/24				

<1打刻1レコード>

	A	B	C	D	E	F	G
1	カードNo	社員番号	フリガナ	年月日	打刻1	印字欄	マーク4
2	1	90001	効ハシ	4/21	2021/4/21 8:30	1	
3	1	90001	効ハシ	4/21	2021/4/21 17:15	2	
4	1	90001	効ハシ	4/22	2021/4/22 8:45	1	
5	1	90001	効ハシ	4/22	2021/4/22 17:15	2	

- 1 USBメモリ内の『打刻フォーマット』のファイルを開く
- 2 ★レコード形式の真下のセル内を編集する
入力候補は0または1です。
- 3 設定が終わったら上書き保存をする

▶ **タイトル行**

初期値 1 (出力する)

先頭行に項目名を出力するかを設定します。

0:出力しない 1:出力する

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	カードNo	社員番号	フリガナ	年月日	打刻1	打刻2	マーク1	マーク
2	1	90001	カハシ	2021/4/21	2021/4/21 8:30	2021/4/21 17:15		
3	1	90001	カハシ	2021/4/22	2021/4/22 8:45	2021/4/22 17:15	遅刻	
4	1	90001	カハシ	2021/4/23	2021/4/23 8:30	2021/4/23 17:15		
5	1	90001	カハシ	2021/4/24				

- 1 USBメモリ内の『打刻フォーマット』のファイルを開く
- 2 ★タイトル行の真下のセル内を編集する
入力候補は0または1です。
- 3 設定が終わったら上書き保存をする

▶ **社員間行数**

初期値 1 (1行)

打刻データの社員間の行数を設定します。

0から9行の間で設定できます。

※0行の場合は、データが続けて出力されます。

1	90001	カハシ	2021/5/17	2021/5/17 8:30	2021/5/17 17:15
1	90001	カハシ	2021/5/18	2021/5/18 8:30	2021/5/18 17:15
1	90001	カハシ	2021/5/19	2021/5/19 8:30	2021/5/19 17:15
1	90001	カハシ	2021/5/20	2021/5/20 8:30	2021/5/20 17:15
2	91055	カトウ	2021/4/21	2021/4/21 8:30	2021/4/21 17:15
2	91055	カトウ	2021/4/22		
2	91055	カトウ	2021/4/23	2021/4/23 8:30	2021/4/23 17:15

- 1 USBメモリ内の『打刻フォーマット』のファイルを開く
- 2 ★社員間行数の真下のセル内を編集する
入力候補は0から9です。
- 3 設定が終わったら上書き保存をする

▶ 月の行数を固定

初期値 1 (する)

月の日数に関わらず31行で出力するかを設定します。

0:しない	1:する
-------	------

うるう年でない2月の場合、28日の打刻データの下に3行分の空白行が入ります。レコード形式で『1(1打刻1レコード)』を選択した場合は、0で設定してください。

1 USBメモリ内の『打刻フォーマット』のファイルを開く

2 ★月の行数の真下のセル内を編集する

入力候補は0または1です。

3 設定が終わったら上書き保存をする

▶ 打刻日時形式

初期値 0 (2023/04/01 08:30)

出力する日時の形式を設定します。

0	2023/04/01 08:30
1	08:30
2	20230410830

1 USBメモリ内の『打刻フォーマット』のファイルを開く

2 ★打刻日時形式の真下のセル内を編集する

入力候補は0、1、2のいずれかです。

3 設定が終わったら上書き保存をする

▶ 出力項目

初期値 1,2,3,10,21,22,23,24

レコードの出力項目を設定します。

1列目から20列目までの出力項目を設定します。

給与計算ソフトのインポート形式に合わせて、集計する際に必要な項目を設定してください。

※形式が合わない給与計算ソフトの場合、表計算ソフトで不足項目の追加・修正などの編集を行ってください。

入力候補	項目	入力候補	項目	入力候補	項目
0	未使用	12	月	31	マーク1
1	カードNo	13	日	32	マーク2
2	社員番号	21	打刻1	33	マーク3
3	フリガナ	22	打刻2	34	マーク4
10	年月日	23	打刻3	41	印字欄
11	年	24	打刻4		

0	使用しない列(未使用)には、必ず0を入力します。
1・2・3	タイムカード上部に印刷されるのカード番号・社員番号・氏名(フリガナ)です。
10・11・12・13	給与計算ソフトの設定により、年月日が1まとまりのデータの場合は10を、それぞれ独立している場合は11・12・13を入力します。
21・22・23・24	打刻1はそのレコードの1回目の打刻、打刻2はそのレコードの2回目の打刻を意味しています。 ※レコード形式で『1(1打刻1レコード)』を設定した場合は、必ず『21(打刻1)』を設定してください。
31・32・33・34	マーク1はそのレコードの1回目のマーク(遅刻の「チ」など)を意味しています ※レコード形式で『1(1打刻1レコード)』を設定した場合は、必ず『31(マーク1)』を設定してください。
41	印字欄を1～4で出力します。
空白(入力なし)	空白以降の列は出力されません。

1 USBメモリ内の『打刻フォーマット』のファイルを開く

2 ★出力項目の真下から下の20セル内を編集する

入力候補は表に記載のある番号になります。

3 設定が終わったら上書き保存をする

3、社員マスタ

ここではカード発行を行うための社員マスタの登録を行います。

▶ 社員マスタ

1から50番までのカード発行をするための登録を行います。データは上詰めで入力してください。

※カード番号は重複しないように設定してください。

A列	カードNo	※1~50までの半角数字のみ入力可能です。 ※カード発行は入力された順に発行されます。カードNo順ではありません
B列	社員番号	※半角の英数、カナ、スペースのみ、合計20文字まで入力可能です。
C列	氏名	

- 1 USBメモリ内の『社員マスタ』のファイルを開く
- 2 ★A列：カードNo、B列：社員番号、C列：氏名真下のA列、B列、C列のセル内を編集する
- 3 設定が終わったら上書き保存をする

第4章 日常の操作

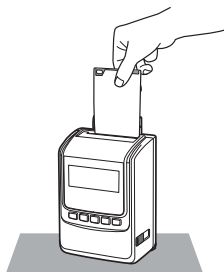
毎日の打刻操作

MEMO カードにテープや付箋などを貼らないでください。印字する位置のずれや、タイムレコーダの故障に繋がる場合があります。

▶ 普段の操作

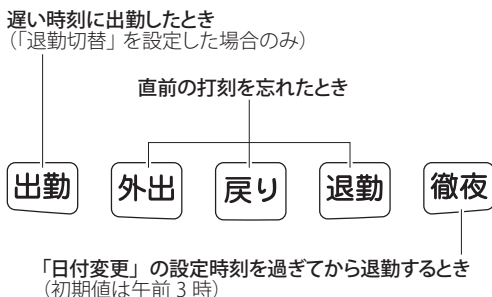
打刻忘れのない通常の出勤・外出・戻り・退勤のときは、タイムレコーダにカードを挿入するだけで正しく打刻されます。

MEMO 打刻を忘れたときなど特別な時は、次にカードを挿入する前に該当するボタンを押してください。ボタンで指定しないと、誤った位置に打刻されます。



▶ 打刻忘れなど特別なときの操作

次の場合は、カードを挿入する前に該当するボタンを押してください。



▶ 公休・出張・TW・特別の特殊勤務時の操作

公休・TW・出張・特別の特殊勤務の打刻を行うことで、打刻されていない日の勤務記録を残すことができます。

MEMO 特殊勤務マークの印字は、印字パターンが出退2欄：**2-00**・出退2欄(日毎集計)：**2-R0**・出退2欄(集計)：**2-0R**のみ印字可能です。

① 出勤ボタンを2回押す

日付が点滅します。出勤ボタンを押すと画面上のカーソルが移動します。印字したいマークに合せます。



② [外出][戻り]で印字したい日付を選択し、カードを挿入する



第5章 集計

打刻データから集計する方法は2種類あります。

1. タイムカードで集計する
2. 打刻データからパソコンで集計する

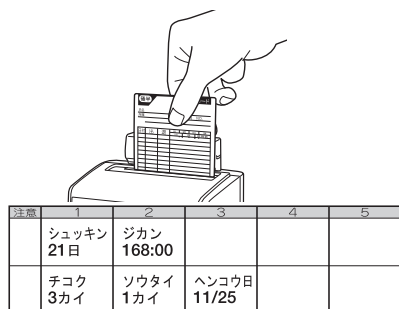
お願い PCでの計算方法により、集計結果が一致しない場合があります。タイムカードでの集計は打刻忘れや打ち間違いは集計されません。給与計算の際にはPCに打刻データを取り込み後、打ち忘れなどが無いか確認し、あった場合は修正し時間計算をし直してからご活用ください。

1. タイムカードで集計する

※集計できるのはSカードのみです。

- ① 前月のカードの「後半」面を手前にして、タイムレコーダに挿入する

※集計がONになっているときのみ、集計結果が印字されます。



シュッキン	出勤した日数
チコク	遅刻した日数
ジカン	集計した時間の合計 (内容は設定により異なる)
ソウタイ	早退した日数
ヘンコウ日	集計に関わる設定を最後に変更した日 (カードに記録した期間内に変更しなかったときは、印字されない)

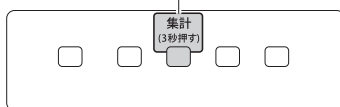
▶ 月の途中で集計する場合

- ① フロントカバーを取り外す **参照** (P.10)

- ② [集計]ボタンを3秒以上押し続ける

※ 「In CArd」と表示されます。

3秒以上押し続ける



MEMO パスワードを設定している場合はパスワードを入力しないと設定できません。

参照 (P.42)

- ③ フロントカバーを取り付ける
- ④ 今月のカードの「後半」面を手前にして、タイムレコーダに挿入する
※集計結果が印字されます。
- ⑤ すべてのカードの印字が終わったら、フロントカバーを取り外して[時計に戻す]ボタンを押す
※表示が時計に戻ります。
- ⑥ フロントカバーを取り付ける
MEMO 時刻以外の設定を変更すると、正しく計算されません。

2、打刻データからパソコンで集計する




打刻データをUSBメモリに取り込み、PCで集計します

- ① USBメモリをタイムレコーダに挿入する
- ② フロントカバーを外す
- ③ 『打刻書出』ボタンを3秒以上押し続ける
※先月度が初期表示されます。
- ④ 『送り』『戻り』を押して、先月度または今月度から取り込みたい月を選択し、セットを押す
- ⑤ 書込みが完了するとブザーが鳴り、点滅表示になる
『時計に戻る』を押して、フロントカバーを取り付ける

第6章 その他

こんなときは

印字や動作に異常があるときは、まず下表に従ってチェックし、対応してください。

現象	チェック方法	対応
カードに印字できない	インクリボンが正しくセットされていますか？	インクリボンを正しくセットします。
タイムカードが入らない	カードに曲がり、破損がないですか？	新しいカードを使います。
カードがタイムレコーダから出てこない	印字途中、電源プラグが抜かれていますか？	電源プラグを差込み直します。
印字する段がずれる	印字中にカードを押し込んだり、ひっぱったりしていませんか？	カードを軽く挿入します。
	カードにシールなどが貼ってありませんか？	何も貼っていないカードを使います。
	「締日」の設定は正しいですか？	「締日」の設定を確認します。  (P.27)
	「日付変更時刻」の設定は正しいですか？	「日付変更」の設定を確認します。  (P.28)
	その日は「1日」ですか？	1日は前月31日の次の行に印字されます。そのため、前月が31日までない月の場合、1日の前に空欄ができます。
印字が薄い	インクリボンを長く使っていますか？	新しいインクリボンに交換します。
電波受信マーク(📶)が表示されない	設置場所の電波状態は良好ですか？	フロントカバーを取り外し、[強制受信]ボタンを押します。 電波が強ければ「📶」が、電波が弱ければ「📶」が表示されます。(受信完了まで3分～10分程度かかります)
		電波受信ユニットを取り外し、電波状態の良い場所で受信します。  (P.23)

以上の処置を行って正常に動作しない場合は、お買い上げ店またはお近くのマックスエンジニアリングサービス(株)窓口までご相談ください。


 (P.71)

エラー一覧

カードをタイムレコーダに入れたとき、エラー音(ピッピッピッピッ)が鳴り、エラー番号が表示されたときは、下表に従って対応してください。

エラー番号	考えられる原因	対応
E-00	自動送りされる位置までタイムカードが入っていない。	タイムカードが自動送りされるまで、軽く押し込んでください。
E-01	タイムカードの裏表上下が間違っている。	タイムカードを正しい向きで入れてください。 締日を確認してください。締日の翌日が前半の1段目に印字されます。
E-02	パンチ穴が正常に読めない。	タイムカードが自動送りされたら、手を離してください。 タイムカードの曲がりなどがないか確認してください。 背面の壁掛け用フックを取り外し、異物がないか、壁、センサーに汚れがついてないか確認してください。
E-04	すでに退勤打刻が終了している。	日付変更時刻を過ぎた退勤で[徹夜]ボタンを押してください。
	すでに打刻済みの印字欄を選択して打刻しようとした。	同じ印字欄には打刻できません。
	印字の設定で出退2欄を選択し、[外出][戻り]ボタンを押した。	印字パターンを変更してください。 【参照】 (P.14)
E-05	その月の使用人数が最大人数を越えてた。	最大人数を超えたご使用はできません。
E-06	カード発行していないカードを挿入した。	月度の後半から打刻する場合はカードの前半(Sカード)オモテ面(UDカード)を手前にして挿入してカード発行をしてください。[ER-Sカード]または[ER-UDカード]をご使用ください。
	タイムカードの情報が正しく認識できない。	
E-07	来月分のタイムカードを挿入した。	今月分のタイムカードを挿入してください。
E-08	使用済みのタイムカードを入れた。(裏面のみ使用済み含む)	新しいタイムカードをご使用ください。
E-09	レポート印刷時に使用中のタイムカードが使われた。	新しいタイムカードをご使用ください。
E-10	カード発行済のカードが挿入された。	新しいタイムカードをご使用ください。
E-11	使用期間外のカードを挿入した。	正しい使用期間、または新しいカードをご使用ください。
E-19	レポート印刷時に使用できないタイムカードが使われた。	[ER-Sカード]または[ER-UDカード]をご使用ください。
	カード発行で使用できないカードが挿入された。	

エラー番号	考えられる原因	対応
E-22	新規のカードを入れて集計しようとした。	新規のカードでは集計できません。
E-36	過去に打刻しようとした。	過去の打刻はできません。
E-37	月集計モードで、一度も打刻していないカードが挿入された。	一度も打刻していないカードは月集計できません。
E-40	特殊勤務マーク打刻において、使用できないカードが挿入された。	「ER-Sカード」または「ER-UDカード」をご使用ください。
E-41	特殊勤務マーク打刻において、今月度カードを挿入したが、印字が今月度ではない。	正しい使用期間のカードを挿入してください。
E-42	特殊勤務マーク打刻において、先月度カードを挿入したが、印字が先月度ではない。	正しい使用期間のカードを挿入してください。
E-43	特殊勤務マーク打刻において、来月度カードを挿入したが、印字が来月度ではない。	正しい使用期間のカードを挿入してください。
E-44	特殊勤務マーク打刻において、新規カードを挿入したが、印字が今月度ではない。	来月度のカード発行を行ったカードを挿入してください。
E-45	特殊勤務マーク打刻において、すでに当日に他の特殊勤務マークが印字されている。	特殊勤務マークは1日分の打刻で1回しか打刻できません。
	特殊勤務マーク打刻において、すでに当日の4欄目に打刻がある。	打刻しようとした日はすでに打刻が終了しています。
E-69 00 E-69 01 E-69 02	自動送りされても、タイムカードがスムーズに入っていない。(出てゆかない)	E-02と同じ対応をしてください。
E-88	電波時計による時計補正ができない。	電波受信ユニットを取り外し、電波状態の良い場所で受信させてください。 【参照】 (P.23)
E-89	電波受信ユニットが接続されていない。	電波受信ユニットを接続してください。
E-2000	USBメモリが接続されておらず、書き込めない。	使用できるUSBメモリが正しく挿入されているか確認してください。
E-2001	USBメモリにファイルが正常に書き込めない。	書き込み先のファイルが読み取り専用になっていないか確認してください。
E-2500	USBメモリが接続されておらず、読み込めない。	使用できるUSBメモリが正しく挿入されているか確認してください。
E-2501	USBメモリに読み込みファイルがなく、読み込めない。	USBメモリ内に必要なファイルが保存されているか確認してください。
E-2502	USBメモリからファイルが正常に読み込めない	USBメモリ内に必要なファイルが保存されているか確認してください。

エラー番号	考えられる原因	対応
E-2503	USBメモリ内のファイルが異常	読み込むファイルの内容が正しいことを確認してください。『ファイル読み込みログ.csv』が出力されている場合はその内容を確認して修正してください。
E-EE	プリンターに異常が発生した。	電源プラグを抜き差ししてください。
E-PS	パスワードが間違っている。	正しいパスワードを確認してください。  (P.42)
E-CC	マックス専用タイムカードではない可能性があります。	「ER-Sカード」または「ER-UDカード」をご使用ください。
E-CON	電波受信ユニットが正しく取り付けられていない。	電波受信ユニットを取り外して、取り付けなおしてください。

メンテナンス


▶ データクリアする

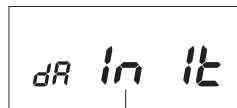
試用運転をしたあとで本使用に移る場合など、その月の累計使用人数が最大人数を超えてしまうときは、次の操作で打刻のデータクリアをします。

お願い 全従業員が出勤する前、または退勤したあとに行ってください。

お願い 全員のタイムカードのデータが消去されます。個別に消去することはできません。

MEMO  インクリボンの使用回数はリセットされません。

- ① フロントカバーを取り外す  (P.10)
- ② [送り]ボタンを押したまま、[時計に戻す]ボタンを5秒以上押し続ける
※「C-05」と表示されます。
- ③ [セット]ボタンを押す
※自動的に時計表示に戻ります。
- ④ フロントカバーを取り付ける



データクリア成功表示

消耗品のお買い求めは

タイムカードとインクリボンのお求めは、タイムカードの販売店またはお近くの文具・事務機販売店にご用命ください。

専用タイムカード	ER-Sカード、ER-UDカード
専用インクリボン	ER-IR103

商品仕様

商品名	ER-110SUW/USB
電源	AC100V 50/60Hz
外形寸法	230(H)×140(W)×99(D) mm
質量	約1.8kg
消費電力	通常4W、最大40W
時計機構	水晶発振式(電波時計補正機能付き)
表示部	液晶(白色バックライト付き)
表示内容	日付、曜日、時分、AM/PM、(チ)、(ソ)、(テ)
メモリー保持	工場出荷時から停電累計3年間
使用人数	最大50人
使用温度	0～40℃
使用湿度	10～80% ただし結露なきこと

保証書とアフターサービス

▶ 保証書について

- 保証書は本取扱説明書の最後にあります。
- 保証期間中万一故障した場合、保証書記載内容に基づき無料修理いたします。
- 保証期間後の修理は、お買い求めの販売店、弊社営業拠点、またはマックスエンジニアリングサービス(株)各サービスステーション窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

▶ アフターサービスについて

- お買い求めの販売店、または弊社営業拠点、マックスエンジニアリングサービス(株)各サービスステーションにご相談ください。**参照**(P.71)
- タイムレコーダは修理の際、全てのお客様に対して、 SENDバック方式(持ち込み修理)のみとなります。故障時は元払いでお送りください。出張修理は行っておりません。また、修理期間中の代替機貸し出し、修理期間中のデータ入力、修理機内のデータ保証などは行っておりません。予めご了承ください。

ご不明な点は下記へお問合せください

<https://wis.max-ltd.co.jp/op>

お客様相談ダイヤル：**0120-510-200**（土日・祝日・当社指定休日を除く）

※「ナンバーディスプレイ」を利用しています。

通話内容は対応品質向上のため録音させていただいております。

本社・営業本部オフィスプロダクツ営業部

〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6

支店・営業所

札幌、仙台、さいたま、東京、静岡、名古屋、大阪、広島、福岡

修理に関するお問合せは

マックスエンジニアリングサービス株式会社

※最新の連絡先についてはマックスホームページよりご確認ください。

東日本／東京サービスステーション

〒190-0022 東京都立川市錦町5-17-19

西日本／大阪サービスステーション

〒553-0004 大阪府大阪市福島区玉川1-3-18

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

▶ 定額修理

故障症状に関係なく、一定額の修理料金で修理することができるシステムです。定額修理料金には、技術料金+部品代が含まれ、機種ごとに料金設定されています。

● 詳しくは下記URLよりホームページをご参照ください。

https://wis.max-ltd.co.jp/op/repair_fixed_amount.html

▶ 見積レス修理

お客様の修理品をお預かりするにあたり、よりスピーディーにお客様の修理対応を行う為に「見積レス修理」のご承諾をお願いしております。「見積レス修理」は、お客様のご承諾の下、修理内容が「基準修理金額」以下の場合に、見積提示をせず直ぐに修理対応を行うサービスです。

● 詳しくは下記URLよりホームページをご参照ください。

https://wis.max-ltd.co.jp/op/repair_fixed_estimate.html

【保証書】

本書は、ご購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に、本書記載内容で無償修理をお約束するものです。弊社では、製造番号によりお客様の商品を管理しております。下記URLまたはQRコードより「お客様登録」をお願いいたします。

●スマートフォンから登録



●インターネットにて登録

https://wis.max-ltd.co.jp/user_regi/

お買い上げ商品のレシート・請求書などご購入日・ご購入日がわかる書類は、取扱説明書・保証書と一緒に大切に保管してください。

【保証規定】

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合に、無償で修理をさせていただきます。なお、中古品や個人売買、オークションで購入いただいた商品は対象外となります。
 - ①無償修理は、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。
 - ②ご購入の販売店にご依頼にならない場合は、お近くのマックス㈱またはマックスエンジニアリングサービス㈱にご相談ください。(弊社ホームページをご参照ください)
- 保証期間内でも次のような場合には有償となります。
 - ①ご使用上の誤りおよび改造や不当な修理による故障および損傷
 - ②ご購入後の移動、落下あるいは輸送などによる故障および損傷
 - ③火災・地震・風水害・落雷その他天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電圧(電圧・周波数)などの不可抗力による故障および損傷
 - ④本保証書のご提示がない場合(コピー可)
 - ⑤本保証書にご購入日、お客様名、ご購入店の記入のない、もしくはレシート・請求書などご購入日、ご購入日がわかる書類をご用意できない場合。また、保証書・書類の字句を書き換えられた場合
 - ⑥消耗品、付属品などの交換や指定の手入れを怠ったことに起因する故障および損傷
 - ⑦弊社が指定している消耗品およびオプション品以外の使用に起因して生じた本体の故障および損傷
 - ⑧本商品本体を利用するために必要な消耗品(使用することでその機能を失う、あるいは消費されてなくなってしまう物品)は、保証対象外とします。(プラテン・サーマルヘッドカッターユニット等が含まれます)
 - ⑨故障の原因が、本商品以外に起因する場合
 - ⑩上記以外で弊社の責に帰することのできない原因により発生した故障
- お客様のご負担となる費用
 - ①修理の際のお預かり、ご返時に伴う送料はお客様のご負担となります。(代替機貸出サービスご利用時を除く)
 - ②本商品に異常がない状態での、点検に伴う費用はお客様のご負担となります。
- その他
 - ①本商品の故障などに伴う2次的損害に対する保証はいたしません。
 - ②修理の際に取り外した部品の所有権は、マックス㈱に帰属します。
 - ③本商品の動作に影響のない外観上の不良(経年劣化や日焼けによる変色・退色を含むがこれに限られません)については保証および修理の対象外とします。
 - ④保証および修理の対応に際して、環境保全等の観点から、品質・性能を確認した再生部品を使用させていただく場合があります。
 - ⑤本保証書は、日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
 - ⑥本保証書は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

保証期間 (ご購入日から)	3 年	ご購入日	2 0	年	月	日
品番 / 商品名		ご購入店				
品 番	商品 名	電話番号 ()	—			
ER90168	ER-110SUW/USB					

マックス株式会社 オフィスプロダクツ営業部

東京都中央区日本橋箱崎町6-6 TEL: 03-3669-8108

ホームページアドレス: <https://www.max-ltd.co.jp/op/>

お客様相談ダイヤル: 0120-510-200 (土日、祝日、当社指定休日を除く)

「ナンバーディスプレイ」を利用しています。

通話内容はサービス向上のため録音させていただいております。